

令和8年度 労働安全・健康管理講習会

令和8年7月29日（水）に新潟県建設会館において「令和8年度 労働安全・健康管理講習会」を開催し、63名の方々が参加されました。

佐治会長から「厚生労働省では、7月1日から1週間にわたり「全国安全週間」を実施し、さまざまな取組が行われております。当協会においても労働災害の未然防止に向けて、例年、この時期に講習会を開催しておりますが、近年は、「クマ対策」が高い関心事となっていることから、第一部では、その内容を含めて詳しくお話をいただくことになっています。また、第二部では、血圧測定の実践化による健康管理の取組についてお話をいただくこととしております。本日の講習会を契機に労働安全と健康管理の意識を更に高めていただきたい。」との挨拶があり、次の内容で講義を受けました。

また、第二部の講演終了後、明治安田新潟支社の協力により、希望者に対して血圧測定等が行われました。

第一部

- 演題 「みんなのため、自分のための労働災害防止」
- 講師 建設業労働災害防止協会新潟県支部 参事 高橋 英人 様
- 内容 令和7年度のツキノワグマの出没・目撃件数は、過去最高を大きく更新した。クマ対策グッズには、フェイスガード付きのヘルメットや防刃ベストがあり、クマの胸を突く撃退用ポールが有効である。
また、近年は高齢化の進展により、高年齢や持病がある作業員への配慮が重要である。（一社）健康ビジネス協議会とオンヨネ㈱の共同開発で、腰の負担を軽減する「胆力VEST」を開発・製品化した。

第二部

- 演題 「血圧チェックで健康経営～にいがた STOP 高血圧プロジェクト～」
- 講師 新潟大学大学院生活習慣病予防・健診医学講座
特任教授 加藤 公則 様
- 内容 日本人の生活習慣病として最も死亡に関連している病気は高血圧である。まずは血圧を測ることを習慣化することで、発症予防となる。新潟県は関係機関と協力して血圧を下げる取組を推進している。「朝めし前の、血圧測定」を推奨し、目指せ血圧130！に取り組んでいる。



佐治会長あいさつ



高橋 講師



加藤 講師